

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス八柱第二教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月9日		2026年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		2026年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生対象の事業所なので、より自立に向けたプログラムが充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月ごとに「作業学習」と「お金学習」をテーマとしたトレーニングを1週間取り入れている。 ・「お金学習」は生活費など生きていくに必要なお金を学んだり、将来働いたことを見据えて、給料をどのように使うかのシュミレーションを組み込んだトレーニングを行っている。また実際にお店で会計をしたり等、お金について実践的なトレーニングも取り入れている。 ・「作業学習」は就労を見据えて「報告・連絡・相談」を学べるようなトレーニング考案をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座学のトレーニングが多いため、粗大運動など体を動かすトレーニングも前向きに取り入れていきたい。 ・卒業後の就労や自立に向けたスキルの獲得を目標に、4月から毎週月、水、木曜日に就労準備型プログラムの実施を予定している。
2	業務効率化システムコミルが導入されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミルでは利用者の入室退室が管理され、保護者のスマホに通知が行くので自立通所でも安心出来る。またコミュニケーション機能を使うことで、保護者が好きなタイミングで事業所に連絡することが出来る。事業所からは利用者の様子を文面で送ることも出来るためコミュニケーションが取りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日の活動内容や空き状況の周知を積極的に行い、利用数の増加、療育の提供機会を増やしていきたい。
3	パソコンプログラム。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者用のパソコンが常に10台はあり、一人1台使うことが出来る。基本的にはタイピングソフトを使いタイピングの練習をしている。時に電車やバスの時間を調べる等余暇時間の充実を図る為のトレーニング考案もしている。 ・利用者は1日30分余暇時間にパソコンの使用ができるため、余暇の過ごし方や趣味の充実にもつなげることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワード、エクセルなどの機能も使えるようにしていきたい。 ・タイピングを用いたトレーニングプログラムの内容の幅を広げていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、学校との連携が薄い。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を考えた際に具体的にどのように交流を作ることができるか模索中であるため。 ・自主通所ができるお子さんが多く、学校とも連携する機会がほとんどないため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような形で地域交流が出来るか職員間で検討。 ・保護者会、父母の会の実施を検討、職員だけでなく保護者間でもつながりの機会となる場を作る。
2	送迎がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎がないため学校との連携や、保護者と顔を合わせる機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談などを通し、保護者と連携を取りながら利用者のサポートをしていく。 ・教室での様子等気になることがあった際にこちらから共有の連絡を行い、保護者や関係機関との連携を図る。
3			